



30th
ANNIVERSARY

30周年記念誌



檀原商工会議所

INDEX

会頭式辞	1
祝辞	2
商工会議所の誕生と渋沢栄一	8
檀原商工会議所の創設	9
檀原商工会議所の歩み～写真でみる30年～	10
歴代正副会頭のご紹介	24
第11期役員・議員のご紹介	25
檀原市の概要	30
檀原の物産	32
編集後記	34

式 辞

檀原商工会議所
会頭

森 本 俊 一



檀原商工会議所創立30周年記念式典を本日開催するにあたり、大勢のご来賓にご臨席賜り、また、役員、議員の皆様にもご出席いただき心より御礼申し上げます。

檀原商工会議所は、平成4年4月1日に奈良県内4番目の商工会議所として誕生し、本年で創立30周年を迎えることとなりました。

創立以来これまでご支援いただいていた国や奈良県、檀原市をはじめ関係団体の皆様には重ねて厚く御礼申し上げます。

また、今日までの歴史を築き繋いできた歴代正副会頭はじめ、役員、議員、会員の皆様方の不断の努力と地域活性化に対する強い情熱に深く感謝申し上げます。

さて、30年を振り返りますと、順調に地域経済も進展する中、バブル崩壊があり、平成20年にはリーマンショック、そして現在、新型コロナウイルス感染症拡大により景気は低迷し、わが国経済は、未曾有の厳しい状況であり、特に中小企業・小規模事業者は今なお回復の兆しが見出せないでおり、世界的規模での厳しい経済環境にあります。

このような厳しい状況の中、檀原商工会議所におきましては、支援体制の強化や支援事業の変革を重ね、会員事業所と一体となり、難局を乗り越え、地域商工業の発展に努めているところでございます。

今後は、将来に向けて、明るい展望の開ける新たな対応が当面の課題であります。

そうした意味でも、企業も、商工会議所もコロナ禍から立ち上がり、環境変化に対応して、積極的に事業変革に挑戦していかなければなりません。

檀原商工会議所では、事業所の業績回復のため、販路拡大に繋がる支援メニューの充実や、個々の事業所に寄り添った支援体制を構築して参ります。

30周年の節目にあたり、当所に課せられた責務の重大さに思いも新たに、今まで以上に創意と工夫、研鑽を地域経済の発展と中小企業の育成を目指して活動してまいりますので、ご来賓各位、国、県、市、関係団体の皆様には引き続きご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

結びに、関係各位のご健勝とご発展を祈念申し上げ式辞といたします。

祝 辞

近畿経済産業局
局長

伊 吹 英 明



檀原商工会議所が、創立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

檀原商工会議所におかれましては、平成4年に創立されて以来30年の長きにわたり檀原市の総合経済団体として中小企業振興やまちづくりなど、時代のニーズに合わせた様々な事業を積極的に取り組むことで市内商工業者の振興と地域経済の発展に御尽力されてこられました。

具体的には、「ビジネス交流会」や「かしはら創業塾」などを根強く継続されることで、販路拡大や創業支援をはじめ地元商工業の発展に貢献されてまいりました。また、令和元年度からは檀原市の知名度向上を図るため、檀原ブランド「万葉 × 檀原コレクション」事業に取り組み、檀原市に関わる優れた商品やサービスの情報発信、販売促進を積極的に実施することで地域経済の活性化に大きく寄与されておられます。

これらの御功績は、森本会頭をはじめとする歴代の会頭、役職員並びに会員の皆様方の御努力の賜であり、深く敬意を表します。

我が国は、コロナ禍からの回復、グリーン、デジタルへの転換など多くの課題を抱えておりますが、近畿経済産業局といたしましても、社会課題や企業課題の解決に向け国の各種施策を広汎に御活用いただくことなどで、商工会議所や会員の皆様と一体となってこの難局に対処してまいりたいと考えております。また、2025年には『大阪・関西万博』が開催されます。万博開催は、またとない経済躍進のチャンスです。このチャンスを活かすために、皆様の御協力もお願いしたいと考えております。一丸となって関西経済を盛り上げてまいりましょう。

檀原商工会議所におかれましては、これまでの輝かしい30年を礎に新たな躍進に向けたより一層の御尽力をお願い申し上げます。

結びにあたり、檀原商工会議所の今後益々の御発展及び会員の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

奈良県知事

荒井 正 吾



この度、橿原商工会議所が創立30周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げますとともに、平素より本県の産業・観光・雇用の振興に多大なご貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

貴会議所は、平成4年の創立以来、地域に根ざした商工業の総合的な改善発達や地域社会の福祉の増進に取り組み、総合経済団体としての確固たる地位を築いてこられました。歴代会頭をはじめ、役員・会員の皆様方のこれまでのご努力に対し、深く敬意を表します。

さて、昨今の我が国経済は、長期間にわたる新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油価格・物価高騰などにより、特に中小企業・小規模事業者には厳しい状況にあります。

このような中にもかかわらず、貴会議所におかれましては、経営相談や販路開拓支援など、中小企業等の経営力強化に精力的に取り組んでこられました。例えば、創業に必要な知識等の体系的な習得、創業後のフォローアップを行う「かしはら創業塾」の開催や、優れた商品やサービスを橿原ブランドとして情報発信する「万葉×橿原コレクション」の認定など、橿原市の知名度向上、産業の振興や活性化に積極的に取り組まれています。特に、「ビジネスマッチなら 橿原ビジネス商談会」については、平成26年度から奈良県商工会連合会との連携により、支援地域を県内全域に拡大し、本県経済の活性化にも大いに貢献されています。

今後も中小企業等の最も身近で頼りになるパートナーとして、地域社会の発展に大いに寄与されることを期待いたします。

本県としまして、リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」設置を控え、京奈和自動車道等の交通インフラの整備や大和平野中央田園都市構想など関連する取組を推進しています。併せて、地域経済活性化のため、県内産業の国内外への販路拡大、研究開発支援の強化などに引き続き取り組むとともに、滞在型観光をより一層促進してまいります。

結びに、橿原商工会議所及び会員の皆様方の今後ますますのご発展と、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

檀原市長 亀田 忠彦



檀原商工会議所が創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

檀原商工会議所は、平成4年の設立以来、地域の総合経済団体として、経営相談指導や講習会の開催、補助事業の情報発信などのほか、数多くのイベントを実施されるなど商工業の活性化に尽力され、本市の商工業の振興はもとより地域経済の発展において大きな役割を果たしてこられました。これもひとえに、森本会頭をはじめ歴代の役員並びに会員の皆さま方のご努力の賜物であり、心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響が続く中、ロシアのウクライナ侵攻により原油や穀物等の国際価格が高騰し、国内の物価もこれまでになく上昇するなど、経験したことのない経済環境を迎えており、中小企業の皆さま方を取り巻く経営環境も厳しい状況が続いております。

このような状況の中、ワクチンの大規模接種会場やPCR検査場の設置等の感染対策に取り組むと同時に、中小企業の方々の事業の継続を支援するための事業継続支援金の交付、地域の景気回復と事業者の方々の支援のための檀原市地域振興券の発行などを実施してまいりました。

本市を取り巻く環境は、奈良県立医科大学新キャンパスの周辺整備、将来の「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の実現、京奈和自動車の更なる整備、令和7年開催予定の大阪万博開催などにより、大きく変わっていくものと思われまます。今後、長引くコロナ禍を乗り越え、地域が輝きを増していく上で、地域経済発展の担い手である檀原商工会議所の果たす役割はますます重要になっていくものと考えており、引き続き、市政へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、檀原商工会議所が、記念すべき創立30周年を契機に、豊かで活力ある地域社会の実現に向け引き続きご活躍されますことをご期待申し上げるとともに、会員の皆さま方の益々のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

榎原市議会
議長

細川 佳秀



榎原商工会議所創立30周年を心からお慶び申し上げますとともに、記念誌の発刊を、榎原市議会を代表してお祝い申し上げます。

平成4年の設立以来、地域経済ならびに地域社会の担い手として地域の活力を生み出す情熱的な取り組みと多大なるご貢献に対し、深甚なる敬意を表します。

さて、時代は今、大きな転換期を迎えています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日常生活や社会経済活動にこれまで経験したことのない影響を及ぼしております。このような中、貴商工会議所におかれましては、地域社会への貢献を重視しながら、中小企業振興の取り組みとして「かしはら創業塾」を開設され独立や起業を目指す人のための情報提供をはじめ、経営支援、経営相談、事業承継、専門家相談など、地域の生活基盤を守り、市民の暮らしを支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。

近年、経済産業省がDX（デジタルトランスフォーメーション）の推奨を掲げております。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルの変革を提唱しています。貴商工会議所の皆様には、これからの新たな日常生活に対応した積極的な事業の推進にご期待申し上げます。

本市には、観光に繋がる歴史的遺産が数多く存在いたします。本年6月29日に明日香村、桜井市とともに「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として世界遺産推薦書素案を文化庁に提出したところですが、この構成資産群の活用には皆様方の更なるご支援、ご協力が必要です。会員の皆様方と行政の結束した取り組みを継続していくため、市議会といたしましても、皆様のお声をしっかり聴き、行政へ提言していく所存であります。

貴商工会議所におかれましては、この創立30周年を機としてさらなる発展を心よりご期待申し上げますとともに、会員各位の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

日本商工会議所
会頭

三 村 明 夫



榎原商工会議所が創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

平成4年の創立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献してこられました。これも偏に、歴代、および現在の役員・議員・会員・青年部、そして職員の皆様の弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、昨年来より、様々な要素が重なり資源価格の高騰が顕在化していたところに、ロシアのウクライナ侵攻、円安、米国FRBの利上げ等も重なり、多くの中小企業、そして地域経済に大きな影響が及んでいます。

しかしながら、これらの出来事は我々が多くのことを学ぶきっかけにもなりました。何より、日本を再構築し、強くて豊かな国を作り上げていかなければならないという危機意識が共有されました。わが国は今、長年にわたる停滞から変革への大転換期を迎えています。企業経営者も「安定」から「成長」志向へと自らを切り替えることが求められており、そのためには、企業も、商工会議所も、こうした大きな環境変化に対応し、覚悟をもって自己変革に挑戦していかなければなりません。

こうした中、榎原商工会議所では、コロナ対応を含む経営相談や創業・事業承継支援など、会員企業に寄り添った対応はもちろん、優れた商品・サービスを榎原ブランドとして認定する「万葉×榎原コレクション」を実施されています。榎原市の知名度およびプレゼンスの向上や、産業振興、地域経済の好循環の実現に資する取り組みであり、誠に心強い限りです。今後も商工会議所が地域の中核となり、地域の一層の発展に向けて大きな役割を果たされますことを期待しております。

日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、未来に向けて新たな歩みを進めていく決意を胸に、新しい時代を皆様とともに切り拓いてまいりたいと思います。

榎原商工会議所におかれましては、創立30周年を新たな出発点として森本会頭の力強いリーダーシップのもと、より一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、コロナ禍からの復興、そしてさらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。

祝 辞

奈良県商工会議所連合会
会長
小 山 新 造



橿原商工会議所が創立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日ごろから連合会活動に対しまして、格別のご支援とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

貴所におかれましては、平成4年の設立以来、中小・小規模事業者に寄り添い、商工業の発展のみならず経済の活性化、地域振興など多岐にわたって活動し地域に貢献してこられました。

森本会頭はじめ役員・議員の皆様のこれまでのご尽力と、会員各位、そして職員の皆様の熱意と努力に対しここに深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染が拡大して早2年半が経過いたしました。この間は、飲食業をはじめ、運輸・小売・サービス業など幅広い業種にわたり多くの事業者がダメージを受けました。さらにウクライナ情勢の悪化による原材料価格の高騰が企業収益を圧迫し、事業者にとっては依然として厳しい状況が続いています。

そのような状況の中、貴所で取り組まれております「ビジネスマッチなら」は、商談会による販路拡大支援だけでなく、雇用マッチングや交流会の開催など、コロナ禍で苦しんでいる事業者の大きな支えになっていることに感謝しております。今後はこれまでの事業継続に加え、ポストコロナ・アフターコロナを見据えた中小・小規模事業者の事業再構築やデジタル化の推進などにも積極的に取り組んでいただければと思います。

また、3年後には、「大阪・関西万博」が開催されます。万博にはインバウンドをはじめとする多くの来場者が期待されます。連合会としても、「日帰り観光からの脱却」と「周遊観光の促進」に取り組み、奈良県の観光をさらに盛り上げていきたいと考えております。橿原市には、日本始まりの地である橿原神宮のほか、藤原宮跡や美しい街並みが残る今井町など多くの観光資源があります。これらを活かした観光振興に積極的に取り組まれることに期待しております。

結びに、この記念すべき30周年を契機として、貴所のさらなる飛躍と役員・議員、そして会員企業の皆様のますますのご発展、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

商工会議所の誕生と渋沢栄一

商工会議所の誕生

明治時代、日本は幕末の開国に際し諸外国との間に結ばれていた不平等条約の改正の問題があり、明治政府は条約撤廃に向け内務卿の伊藤博文や大蔵卿の大隈重信らが英国公使のハリー・パークスとの交渉を行っていました。「条約改正は国民の世論である」というと、パークスに「日本に世論をまとめる機関があるのか？個々それぞれの申出は世論ではない」と反論されます。

そこで伊藤と大隈は渋沢栄一に相談を持ち掛けます。渋沢はパリ万国博覧会に随行した経験から、欧米の商工会議所制度を思い起こして、日本にも商工会議所が必要であると考えました。政府もその必要性を認め、「商法会議所」の設置を全国に推奨しました。

その結果、渋沢栄一をはじめ大蔵喜八郎ら7名の創立発起人により、明治11年（1878）3月に東京商工会議所が誕生し、初代会頭に38歳の渋沢栄一が就任しました。

その後、大阪、神戸など主要な都市に相次いで商工会議所が設置されました。

日本の資本主義の父、渋沢栄一の生い立ちと生涯

日本の資本主義の父といわれる渋沢栄一は、天保11年（1840）現在の埼玉県深谷市の血洗島に生まれました。家業は農家であり藍玉の製造・販売、養蚕を手伝っていました。幼いころより父 市郎右衛門や従兄の尾高惇忠から論語など学問の手ほどきを受けていました。

20代で一橋慶喜（後の第15代将軍徳川慶喜）に仕官することになり、実力を発揮して次第に認められるようになり、27歳の時に慶喜の弟徳川昭武に随行し渡欧。パリ万国博覧会を見学するなど欧州諸国の実情に触れました。

明治維新となって帰国後、明治政府に仕官。明治6年（1873）に大蔵省を退官後、第一国立銀行の頭取をはじめ民間の経済人として生涯で500もの企業の創設や育成に携わり、また社会公共事業や福祉・教育機関の支援等にも精力的に取り組み多くの功績を残し、昭和6年（1931）91歳で生涯を終えました。



渋沢 栄一の肖像
（深谷市所蔵）

商工会議所の主なミッション

(1) 政策提言—歩先んじた政策提言を展開—

- 会員訪問や各種会議開催を通じた会員企業との積極的なコミュニケーション
- 震災復興をはじめ、経済政策やエネルギー・環境政策、社会保障制度、税制、経済連携など、わが国の根幹をなす重要政策課題から、中小企業に対する個別施策まで、幅広いテーマについて意見具申

(2) 中小企業の活力強化—中小企業の成長への挑戦を全力で後押し—

- 中小企業の経営課題へのきめ細やかな支援
- 創業・経営革新への挑戦支援
- 経済のグローバル化に対応するための中小企業の国際化支援
- 検定事業を実施し、時代に対応した産業人材を育成

(3) 地域経済の活性化—地域の力を再生させる取り組みを強力に推進—

- 「まちづくり3法」を活用した中心市街地の活性化支援
- 地域資源を活用した産業振興、地域ブランド力の育成強化、観光振興
- 地域コミュニティの維持、社会福祉の増進

商工会議所の4つの特徴—「商工会議所」のDNA

- ① 地域性—地域を基盤としている
- ② 総合性—会員はあらゆる業種・業態の工商業者から構成される
- ③ 公共性—商工会議所法に基づき設立される民間団体で公共性を持っている
- ④ 国際性—世界各国に商工会議所が組織されている

● 商工会議所は民間経済団体として設立・運営されている

商工会議所法は、商工会議所の組織を規定しているものであり、その設立・運営には民間経済団体としての自主性が確保されています。



榑原商工会議所の創設

榑原商工会議所の前身である「榑原市商工会」は昭和35年5月20日に「商工会法」の公布された法に基づき、昭和36年8月15日に設立の認可を受けました。商工会は「その地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、特に小規模事業者のための指導活動を促進し、もって国民経済の健全な発展に寄与する」ことを目的とし、地域的総合指導団体であり公益性の強い特殊法人として、商工組合、協同組合等とは性格を異としており、商工会議所とは類似した団体とされました。

初代会長は浅田伊一氏が就任され地域商工業の発展に多大なる貢献を行いました。

榑原市商工会 歴代商工会長



初代 浅田伊一氏
昭和36年～昭和56年



2代 宮寄新一氏
昭和57年～昭和62年



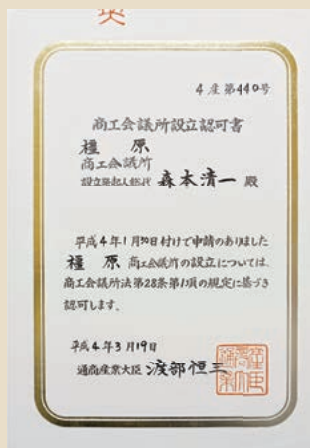
3代 柳原繁吉氏
昭和63年～平成4年

榑原市商工会は経営改善普及事業を中心として地域商工業の育成、地域振興などの事業を展開して参りましたが、更に一層の振興を図ると共に、地域社会の福祉の向上に寄与し、榑原市の発展に貢献すべく商工会議所の設立を望む声が次第に強くなり、平成元年7月に商工会内に商工会議所移行特別委員会を発足し、先進商工会議所等の調査研究を行い、平成3年3月には榑原市経済界の活動拠点となる「榑原市商工経済会館」完成とともに事務局を現在地に移転。県、市及び関係機関のご支援を得て、地域総合経済団体である商工会議所の設立を目指しました。

平成4年1月20日に創立総会が開催され、1月30日に設立認可申請書を通商産業大臣に提出し、3月19日に設立認可書の交付を受け、4月1日に設立登記がなされました。榑原商工会議所は全国では504番目となり、初代会頭故森本清一氏をはじめ多くの方々が心血を注いで創立されました。



榑原商工会議所創立総会



榑原商工会議所
設立認可書



榑原市商工経済会館全景

榎原商工会議所の歩み ～写真でみる30年～

平成5年度～平成14年度 / 1993年4月～2003年3月

平成5～14年度



新年名刺交換会 (平成5年1月)



5部会合同演芸会 (平成6年9月)



ロマンビア藤原京95にて紀宮様を御案内 (平成7年4月)



榎原と宮崎の物産と観光展 (平成9年1月)



経営講演会 (建設部会) (平成10年1月)



伏見稲荷大社参詣会 (商業部会) (平成11年1月)



視察見学会 (工業部会) (平成11年10月)



ゴルフコンペ (サービス業部会) (平成12年10月)



空き店舗対策事業 (平成13年12月)



榎原商工会議所創立10周年記念式典 (平成14年9月)

平成15年度～平成24年度 / 2003年4月～2013年3月

平成15～24年度



橿原のうまいもの市 (平成15年11月)



第11回姉妹都市橿原と宮崎の物産展 (平成17年1月)



新年名刺交換会 (平成18年1月)



経済講演会 (日本郵政(株) 西川善史氏) (平成18年11月)



夕張メロンフェア (平成19年7月)



5部会合同視察研究会 (平成20年7月)



青少年健全育成事業「私のしごと館」 (平成22年3月)



土産物開発プロジェクト (商業部会・iチャレンジ特別委員会) (平成22年4月)



かしはら商工まつり (ビジネスディール) (平成23年10月)



橿原商工会議所創立20周年記念式典 (平成24年4月)

平成25年度 / 2013年4月~2014年3月



5部会合同ゴルフコンペ(表彰式)(5月)



畿央大学・橿原商工会議所 農商工連携
かしはらの新商品開発マッチング会(6月)



第43回通常議員総会(6月)



橿原のうまいもん市(7月)



宮崎商工会議所議員平成会との懇談会(7月)



2013かしはらビジネス商談会(10月)



5部会合同視察研修会(12月)



企業見学会(工業部会)(12月)



新年賀詞交歓会(1月)



第20回姉妹都市橿原と宮崎の物産展(2月)

平成26年度

平成26年度 / 2014年4月～2015年3月



5部会合同ゴルフコンペ (5月)



宮崎・橿原商工会議所災害時職員派遣協定締結 (7月)



橿原観光親善大使会頭表敬訪問 (7月)



ビジネスマッチなら かしはらビジネス商談会 (10月)



会員事業所健康診断 (10月)



第20回橿原のうまいもん市 (11月)



POPセミナー (12月)



伏見稲荷大社参詣会 (商業部会) (1月)



新年賀詞交歓会 (1月)



第21回姉妹都市橿原と宮崎の物産展 (1月)

平成27年度 / 2015年4月～2016年3月



新商品・新サービス開発セミナー（6月）



畿央大学×橿原市・橿原商工会議所 連携 橿原産ショウガを使った飲食店メニュー開発プロジェクト審査会（7月）



橿原市へ建設関連の要望書提出（建設業部会）（8月）



ビジネス交流会（10月）



東大阪・奈良橿原地域ものづくり商談会（12月）



新年賀詞交歓会（1月）



第2回ビジネスマッチなら（橿原商工会議所・奈良県商工会連合会連携事業）東京商談会（1月）



伏見稲荷大社参詣会（商業部会）（1月）



第22回姉妹都市橿原と宮崎の物産展（1月）



優良従業員表彰・優良従業員橿原市長感謝状授与（3月）

平成28年度

平成28年度 / 2016年4月～2017年3月



橿原市政50周年記念・宮崎市姉妹都市40周年記念
宮崎と原の観光と物産展 (4月)



第1回会頭杯親善ゴルフコンペ (表彰式) (6月)



第143回日商簿記検定試験 (6月)



第130回常議員会 (8月)



ビジネス交流会 (10月)



第3回ビジネスマッチなら (橿原商工会議所・奈良県商工会連合
会連携事業) 東国原英夫氏 商談会特別講演会 (10月)



視察研修会 (サービス業部会) (11月)



新年賀詞交歓会 (1月)



原うまいもんweek (2月)



観光列車 (観光部会) (3月)

平成29年度 / 2017年4月～2018年3月



異業種交流名刺交換会 (5月)



八木駅南私有地複合施設建設現場視察 (建設業部会) (5月)



会頭杯親善ゴルフコンペ (表彰式) (6月)



ビジネス交流会 (10月)



ワードで出来る簡単チラシ作成セミナー (10月)



第4回ビジネスマッチなら (橿原商工会議所・奈良県商工会連合会
連携事業) 新商品・新サービス等プレス発表会 (10月)



第3回ビジネスプランコンテスト (10月)



通行量調査 (11月)



かしはら創業塾土曜コース (1月)



優良従業員表彰・優良従業員 橿原市長感謝状授与 (3月)

平成30年度

平成30年度 / 2018年4月～2019年3月



宮崎商工会議所・榎原商工会議所友好姉妹締結5周年記念植樹 (4月)



会頭杯親睦ゴルフコンペ (表彰式) (6月)



榎原商工会議所専門家連携協議会と金融機関との連携会議と交流会 (7月)



かしはら創業塾 創業基本セミナー (9月)



商工会議所新入会員交流会 (9月)



高岡商工会議所と榎原商工会議所との懇談会 (10月)



第5回ビジネスマッチなら 榎原ビジネス商談会 地域の魅力発見フェア (10月)



第5回ビジネスマッチなら 榎原ビジネス商談会 (榎原商工会議所・奈良商工会連合会連携事業) モノづくり商談会 (10月)



第4回榎原ビジネスプランコンテスト (10月)



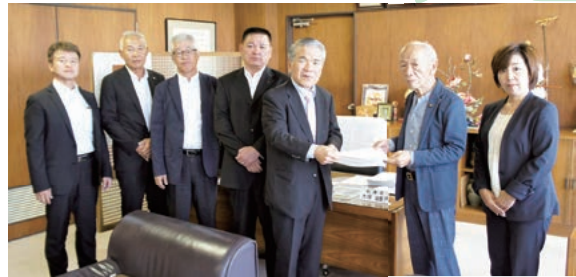
ものづくり育成事業 (株)靴工房山本 代表取締役 山本一彦氏 経営トップセミナー (工業部会) (3月)

平成31年度・令和元年度

平成31年度・令和元年度 / 2019年4月～2020年3月



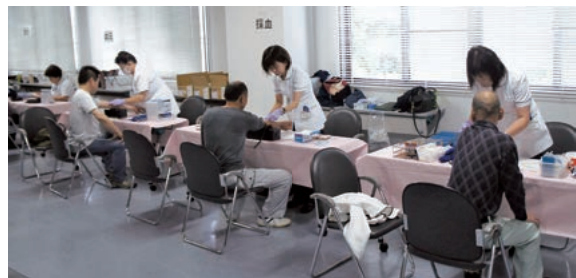
キャッシュレス決済入門講座&決済体験会 (7月)



榎原市議会へ建設関連の要望書提出 (建設業部会) (8月)



ビジネス交流会・荒井知事のご挨拶 (10月)



会員事業所健康診断 (10月)



小規模事業者・中小企業者の経営支援に関する連携協定締結 (榎原市、榎原商工会議所、㈱南都銀行、大和信用金庫、奈良中央信用金庫、㈱りそな銀行、㈱京都銀行、㈱日本政策金融公庫 奈良支店) (10月)



第6回ビジネスマッチなら 榎原ビジネス商談会 (榎原商工会議所・奈良県商工会連合会連携事業) モニタリング会 (10月)



榎原市長と榎原商工会議所との懇談会 (12月)



新年賀詞交歓会 (1月)



第26回姉妹都市榎原と宮崎の物産と観光展 (1月)



榎原初! ブランド認定品発表 (1月)

令和2年度 / 2020年4月～2021年3月

令和 **2** 年度



新型コロナウイルス対策関連融資等説明会&特別相談会(4月)



コロナウイルス感染対策 家賃支援給付金申請に関する
アドバイス会(8月)



建設業部会と橿原市建設業協会との合同会議
(建設業部会)(8月)



異業種ビジネス交流会(10月)



会員事業所健康診断(10月)



Excelで作るチラシ作成セミナー(11月)



ビジネスマッチなら かしはらビジネス商談会
個別商談会(11月)



経営お悩み相談会(11月)



第7回ビジネスマッチなら 橿原ビジネス商談会(橿原商工会議所・
奈良県商工会連合会連携事業)雇用マッチング(11月)



優良従業員表彰・優良従業員橿原市長感謝状授与(3月)

令和3年度 / 2021年4月~2022年3月



ビジネスマッチならかしはらビジネス商談会
オンライン個別商談会 (6月)



第222回日商珠算(そろばん) 検定試験 (6月)



橿原ブランド認定品(プレス) 発表 (9月)



会員事業所健康診断 (10月)



補助金活用セミナー&ビジネス交流会 (10月)



ビジネスマッチなら かしはらビジネス商談会
ニュービジネスNara de プレス発表会 (11月)



第8回ビジネスマッチなら 橿原ビジネス商談会(橿原商工会議所・
奈良県商工会連合会連携事業) 雇用マッチング 奈良ジョブフェア
企業合同就職説明・面談会 (11月)



第8回ビジネスマッチなら 橿原ビジネス商談会(橿原商工
会議所・奈良県商工会連合会連携事業) 雇用マッチング
地元企業と学校との就職情報交換会 (11月)



ビジネスマッチなら かしはらビジネス商談会
地域の魅力発見フェア (11月)



思い通りの写真を撮るための悩みと問題を解決する講座
(12月)

30周年を迎えた商工会議所事業予定

令和4年度

令和4年度 / 2022年4月～2023年3月

檀原商工会議所創立30周年記念事業

【記念式典・祝賀会】 と き 令和4年9月29日(木)
 と ころ THE KASHIHARA ロイヤルホール
 記念式典 午後3時30分～午後4時30分
 祝 賀 会 午後5時15分～午後7時

【記念公演】 と き 令和4年11月21日(月)午後2時開演
 と ころ 奈良県檀原文化会館 大ホール
 記念公演 爆笑!お笑いライブ
 出 演 者 大木こだま ひびき、スマイル、女と男、
 もりやすバンバンビガロ、ラフ次元、
 さや香、桂ちきん



大木こだま ひびき

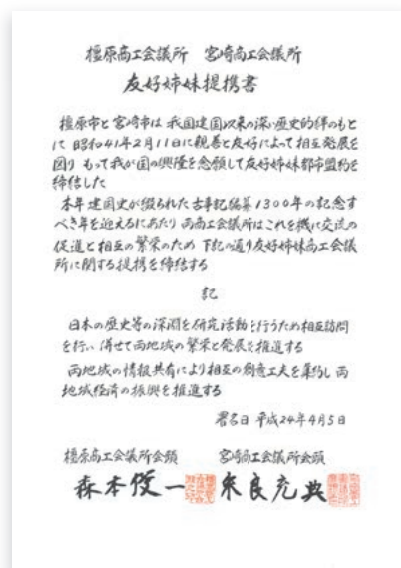
檀原商工会議所と宮崎商工会議所 友好姉妹商工会議所盟約締結10周年記念

宮崎市と檀原市は 我国建国以来の深い歴史的絆のもとに昭和41年2月11日に親善と友好によって相互発展を図りもって我が国の興隆を祈念して友好姉妹都市盟約を締結した。

商工会議所においても地域商工業の総合的改善発展を図り社会一般の福祉増進の役割を担う両商工会議所の交流促進と相互発展のため友好姉妹商工会議所の盟約を平成24年4月5日に締結した。

記念事業【檀原・宮崎商工会議所特産品フェア】

と き 令和4年11月23日(水・祝)～11月29日(火)
 7日間
 と ころ 株式会社近鉄百貨店 檀原店 1階



宮崎商工会議所との友好姉妹提携書

令和4年度の主な事業予定

主催事業・業務 ビジネスマッチなら かしはらビジネス商談会(個別商談会・雇用マッチング・ビジネス交流会)、創業・事業承継、檀原ブランド認定、金融機関との連携、専門家との連携、健康診断、イルミネーションINかしはら、新商品開発、地域の魅力発見等々

中小企業相談所業務 記帳・税務相談、事業資金相談、労務相談、各種共済、各種セミナー

事業活動 各部会、青年部、女性会、各委員会、物産協会

各種検定試験 日商珠算(そろばん)検定、日商簿記検定、各種ネット検定

その他事業 受託事業、諸証明、特産品・物産品振興事業、外国人研修制度

会 議 通常(臨時)議員総会、常議員会、正副会頭会議、監事会、部会、常設(特別)委員会

青年部の活動紹介

平成4年4月1日 榎原商工会議所青年部として発足。

歴代 部長・会長

氏名・役職	任期
西澤茂吉 部長	平成4年度～平成5年度
榎本好成 会長	平成6年度～平成7年度
牧野善行 会長	平成8年度～平成11年度
森本佳秀 会長	平成12年度～平成13年度
木原智司 会長	平成14年度～平成16年度
片岡憲一 会長	平成17年度～平成18年度
藤本政功 会長	平成19年度～平成21年度
藤井宏和 会長	平成22年度～平成23年度
中西利伸 会長	平成24年度
宮本貴之 会長	平成25年度

氏名・役職	任期
下地直輝 会長	平成26年度
植田浩幸生 会長	平成27年度
福本雅宣 会長	平成28年度
松本智亜樹 会長	平成29年度
仲嶋正起 会長	平成30年度
山内 尚 会長	令和元年度
泉谷 齊 会長	令和2年度
阿智原兼一 会長	令和3年度
藤原雅和 会長	令和4年度



愛宕まつり (平成25年8月)



田原本どろんこバレー (平成26年7月)



研修事業 (平成27年6月)



経済講演会及び賀詞交歓会 (平成28年1月)



イルミネーションinかしはら (平成29年12月)



定例会企業自己PR事業 (平成30年6月)



榎原商工会議所青年部・榎原商工会議所女性会 合同講習会 (令和2年2月)



近畿ブロック大会 (令和2年12月)



ビジネスパソコン事業 (令和3年6月)



新入会員オリエンテーション (令和4年6月)

女性会の活動紹介

平成 4年4月1日 檀原商工会議所婦人部として発足。
 平成14年4月1日 檀原商工会議所女性会に名称変更。

歴代 部長・会長

氏名・役職	任期
森家真喜子 部長	平成4年度～12年度
吉田律子 会長	平成13年度～18年度
鈴木洋子 会長	平成19年度～20年度
上奥千鶴子 会長	平成21年度～22年度
岡本嘉代子 会長	平成23年度～25年度
尾田博子 会長	平成26年度～28年度
植田マス子 会長	平成29年度～30年度

氏名・役職	任期
吉川睦代 会長	令和元年度～2年度
辻村禮子 会長	令和3年度～



健康体操講習会 (平成25年7月)



フラワーアレンジメント講習会 (平成26年2月)



手芸講習会 (平成26年6月)



檀原神宮奉仕作業 (平成27年3月)



大和高田商工会議所・檀原商工会議所
 合同講演会 (平成27年11月)



一泊研修会 (平成28年11月)



(福) 檀原市社会福祉協議会
 善意銀行へ寄付 (平成29年12月)



高岡商工会議所・檀原商工会議所
 女性会 交流会 (平成30年10月)



檀原夢の森フェスティバルへの
 バザー出展 (平成30年10月)



健康講習会 (令和元年7月)

歴代正副会頭のご紹介

歴代会頭



初代会頭
森本 清一
[H4.4 ~ H9.9]



2代会頭
貝本 富之輔
[H9.10 ~ H13.10]



3代会頭
喜多 一嘉
[H13.11 ~ H19.10]

歴代副会頭



副会頭
貝本 富之輔
[H4.4 ~ H9.9]



副会頭
藤本 普言
[H4.4 ~ H9.9]



副会頭
柳原 繁吉
[H4.4 ~ H5.9]



副会頭
中川 敏治
[H8.3 ~ H9.9]



副会頭
嵩山 定男
[H9.10 ~ H16.10]



副会頭
喜多 一嘉
[H9.10 ~ H13.10]



副会頭
森本 俊一
[H11.10 ~ H19.10]



副会頭
森本 全彦
[H14.4 ~ H16.10]



副会頭
佐藤 進
[H16.11 ~]



副会頭
竹中 邦夫
[H16.11 ~ H19.10]



副会頭
中川 一郎
[H19.11 ~ H26.2]

役員・議員のご紹介 第11期（令和元年11月～令和4年10月）

会
頭



森本 俊一
三和澱粉工業(株)
代表取締役会長

副
会
頭



佐藤 進
佐藤薬品工業(株)
代表取締役会長



高瀬 泰嗣
ナント種苗(株)
取締役会長



森脇 信之
アスカ美装(株)
相談役

専
務
理
事



中村 吉代茂
橿原商工会議所

理
事



辻本 昌弘
橿原商工会議所

常
議
員



今中 好之
フルーツ&リカーショップ 今中
代表者



植田 巖
植田商店
代表者



植田 浩和
(株)南都衛材製作所
常務取締役



大西 甚吾
ミヅホ(株)
代表取締役



小川 大三郎
大和リゾート(株) THE KASHIHARA
総支配人



奥野 陽子
(有)奥野商会
代表取締役



尾上 隆志
(株)リード
代表取締役社長



鍵岡 寛俊
奈良中央信用金庫 橿原支店
支店長



梶本 成彦
梶本物産
代表者



加藤 宗範
(株)加藤建装
代表取締役



岸田 守弘
(株)だんご庄
取締役会長

役員・議員のご紹介 第11期（令和元年11月～令和4年10月）



● 2号議員

木原 智司
(株)香久山美人
 代表取締役



● 2号議員

阪本 富一
(株)創造工舎
 取締役



● 3号議員

嵯山 雅由
(株)崎山組
 取締役会長



● 2号議員

澤 光彦
沢設備工事(株)
 代表取締役



● 1号議員

清水 英治
(株)南都銀行 榎原支店
 支店長



● 2号議員

清水 克益
阪神管理サービス(株)
 代表取締役



● 2号議員

下田 吉美
榎原中央ビル(株)
 代表取締役



● 3号議員

首藤 恭子
(株)近鉄百貨店 榎原店
 店長



● 2号議員

菅生 重政
丸幸開発(株)
 代表取締役



● 2号議員

関 俊昭
榎原タクシー(株)
 代表取締役



● 3号議員

高見 敏明
(株)サンロード
 代表取締役



● 2号議員

谷口 晴紀
(株)新生
 代表取締役社長



● 3号議員

土井 貞行
土井石油(株)
 取締役会長



● 2号議員

仲川 和馬
かにの家
 代表取締役



● 3号議員

中谷 昌紀
(株)中谷本舗
 代表取締役



● 3号議員

中西 知
(株)アイプリコム
 代表取締役会長



● 2号議員

中西 利博
中西化学工業(株)
 取締役会長



● 2号議員

林田 一真
(株)オークホテル
 代表取締役



● 3号議員

藤本 伸浩
(株)雪の元本店
 取締役会長



● 2号議員

藤本 政功
(株)丸善
 代表取締役



● 3号議員

細井 保宏
(株)長生堂
 代表取締役社長



● 2号議員

松田 七彦
マツダ建材(株)
 代表取締役社長



● 2号議員

宮脇 謹一
(株)近鉄・都ホテルズ榎原神宮養正殿
 支配人



● 2号議員

森本 和佐子
森本石油(株)
 代表取締役



● 1号議員

山川 正剛
(株)京都銀行 榎原支店
 支店長



● 1号議員

横瀬 晃久
大和信用金庫 八木支店
 支店長



● 2号議員

横山 忠則
三和運輸(株)
 代表取締役社長



● 1号議員

吉田 勝亮
(株)吉田木材
 代表取締役会長



● 2号議員

吉村 章
(株)ヨシムラエアサプライ
 取締役会長

監事



東岡 英雄
(税)東岡会計
社員税理士



宮崎 淳
(株)山城屋
代表取締役会長

3号議員



岡橋 勢美男
オカハン(株)
代表取締役



喜多 一嘉
喜多酒造(株)
取締役会長



古市 恵美子
(株)古市工務店
代表取締役



増田 誠
(株)タカトリ
代表取締役社長



丸 洋史
(株)丸産業
代表取締役副社長



守金 育夫
ダイヤ製薬(株)
取締役

2号議員



井上 雅祥
(株)井上紙店
代表取締役



打谷 久義
打谷石材(株)
取締役会長



大井 孝益
新口運送店
代表者



掛川 章男
掛川産業(株)
代表取締役



亀田 幸秀
関西電力送配電(株)奈良支社
高田地域統括部長



久保 眞須夫
建光産業(株)
代表取締役



黒川 賢一
クロカワ工芸(株)
代表取締役



小柳 和彦
(株)カリヨン
代表取締役



豊田 博樹
(株)アストリア
代表取締役



取柄 昌徳
ヤマト一商事(株)
総務部次長



中川 茂宣
(株)中川組
代表取締役



中谷 芳一
(株)中和設計
会長



西村 勉
(株)ニッソー
代表取締役



前田 衛作
(有)サウンドプロデュース
代表取締役



増田 善昭
大和合同製薬(株)
代表取締役



松田 充玄
(株)松吉組
代表取締役



吉崎 雅之
(株)平成建設
取締役会長



吉村 嘉夫
全国薬品工業(株)
取締役営業部長



和田 修志
(株)和田エンジニアリング
代表取締役

役員・議員のご紹介 第11期（令和元年11月～令和4年10月）

1号議員



青山 信房
(医)平成記念会
理事長



石井 昌
東洋精密工業(株)
代表取締役会長



泉谷 斉
マルク(株)
代表取締役



宇佐美 孝二
太陽会計(税)
代表社員



奥村 圭右
(株)オクムラペーパー
代表取締役



音村 直哉
(株)音村商会
代表取締役



柿本 健三
(株)ナラーズ
代表取締役



柏井 敬一
柏井産業(株)
取締役副社長



嘉藤 良道
(株)かとう不動産
代表取締役



上谷 修市
アクサ生命保険(株)
奈良営業所長



河合 一伊
河合メリヤス
代表者



米虫 教哲
(有)米虫金属製作所
代表取締役



櫻井 茂門
(株)オークワ 奈良事業所
近畿第二販売部販売部長



佐原 慶
佐原自動車(株)
代表取締役



島田 剛志
(株)島田水道設備
代表取締役



新崎 恵紹
新崎紙商店
代表者



杉井 康夫
(有)杉井住宅
代表取締役



杉本 憲秀
(株)サンコウ設計
代表取締役



竹田 延夫
(有)竹田花香社
代表取締役



田籠 利昭
(有)インターネット
代表取締役



田中 康博
(株)田中設備
取締役



辻本 龍晃
(株)ルビー
代表取締役



中川 賢治
(株)ナカガワカセイ
会長



仲谷 登
ダイヤモンド開発(株)
代表取締役



長友 久和
長友社会保険労務士事務所
代表者



西川 暁子
河合酒造(株)
代表取締役社長



橋本 元志
(株)ハシモトガスショップ
代表取締役



平井 孝典
(株)柿の葉ずし
代表取締役



福本 雅宣
(有)福本建設
取締役



堀部 光志
(株)メイコー
代表取締役会長



前川 浩二
(株)都市企画設計コンサルタント
代表取締役



前田 真志
森田運送(株)
代表取締役



増田 博文
増田燃料
代表者



松村 宏昭
松村燃料店
代表者



松本 智亜樹
龍樹警備保障(株)
代表取締役



南 儀行
(福)聖寿会
理事長



宮崎 哲治
(株)りそな銀行 檀原支店
支店長



宮本 貴之
(有)大和檀原シティホテル
代表取締役



宮脇 渉
ミヤワキ(株)
代表取締役



森川 康治
もりかわ社労士事務所
代表者



森田 栄一
八木日進運送(株)
代表取締役



森田 宗弘
(株)ヨシダ
代表取締役



森本 勝
ギンナラ
代表者



安田 一清
太豊陸業(株)
代表取締役



山内 尚
写真スタジオ マミフォート
代表者



山辺 元康
八房建設(株)
代表取締役



山本 一彦
(株)鞆工房山本
代表取締役



吉川 英克
奈良県農業 (協組)金橋支店
支店長



吉川 睦代
(株)吉川ガスセンター
代表取締役会長



吉田 廣彰
吉田廣彰税理士事務所
代表者



吉田 雄策
大扇産業(株)
代表取締役



吉田 喜彦
経営システムコンサルティング事務所
代表者

- 本文中に用いた略号は次のとおりです。正式名称で略号を用いておられない企業も統一させていただきました。
(株)=株式会社 (有)=有限会社 (福)=社会福祉法人 (医)=社会医療法人 (税)=税理士法人 (協組)=協同組合
- 法人企業以外の役職名は「代表者」と統一させていただきました。
- 令和4年11月より第12期の議員の皆様となります。

令和4年9月16日現在
(役員・議員別氏名五十音順・敬称略)

橿原市の概要

市の概要

市の中央には飛鳥川、西に曾我川が流れており、万葉集に詠まれた国の名勝「大和三山」（香具山152m、畝傍山199m、耳成山139m）がそびえ、その中央部には、約1300年前に、わが国最初の本格的な都城として誕生した、特別史跡の「藤原宮跡」があります。近年は、県の中心都市として、誰もが住みやすいまちの実現を目指しています。

市の位置

橿原市は、奈良盆地の中南部に位置し、東は桜井市、西は大和高田市、南は高取町・明日香村、北は田原本町・広陵町に接しています。

橿原市は、鉄道がJRと近鉄合わせて13駅あり、大阪とは40分、京都は1時間、名古屋とは2時間で結ばれています。また、道路網も国道24・165・169号のほか、中和幹線や京奈和自動車道が整備され、特に関西国際空港からは、南阪奈道路を経由すれば約1時間という中南海の交通の要衝地となっています。



橿原市 公共施設・名所



かしはらナビプラザ



ミグランス



歴史に憩う橿原市博物館



今井まちなみ交流センター華薨



かしはら安心パーク



シルクの杜



昆虫館



新沢千塚古墳群公園

世界遺産登録を目指しています

藤原宮跡、大和三山（香具山、畝傍山、耳成山）、本薬師寺跡、菖蒲池古墳は「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産として、世界遺産登録を目指しています。



藤原宮跡



大和三山



本薬師寺跡



菖蒲池古墳



橿原神宮

橿原神宮は、御祭神・神武天皇が畝傍山の東南・橿原の地に宮を建てられ即位の礼を行われた宮址に、明治23年に創建されました。

第一代の天皇であり我が国建国の始祖となられた神武天皇と、媛蹈鞬五十鈴媛（ひめたたらいすずひめ）皇后が祀られています。神武天皇は、皇孫・瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）がこの国土に降られた日向国（ひゅうがのくに）高千穂の宮から、天下の政治（まつりごと）を行うべくはるばる東遷の途に立たれました。途中幾多の困難に遭われましたが、ついに大和の国を平定され、畝傍（うねび）の橿原の宮において即位の礼をあげられ、国の基をたてられたと伝えられています。

「写真提供／橿原神宮」

今井町の町並み

今井町は、東西600m、南北310mの小さな町ですが、かつて「大和の金は今井に七分」・「今井しんど屋は大金持ちや金の虫干し玄関までも」と言われるほど繁栄した町でした。（しんど屋は山尾家のこと）

現在旧環濠内にある約760件の民家のうち、約500件が江戸時代からの伝統様式を残す町家であり、平成5年12月8日に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。うち9件が国の重要文化財に、3件が県の文化財に、5件が市の文化財にそれぞれ指定されています。



榎原の物産 歴史と伝統に支えられた榎原の特産物

食品



会員企業で作られた主な食品

銘菓

古代の言い伝えにちなんだ和菓子、伝統的製法で造られる生菓子などの銘菓の数々は、素朴な味わいが珍重され、進物や土産品としても広く人気があります。

地酒

古代から作られていた地酒は、良質の米、冷涼な気候風土など、酒作りに適した地形の賜物。伝統的な酒作りの技法と、蔵人たちによる愛情でおいしい銘酒が生み出されます。

酢

昔からの製法で地元ならではの味を守り続けています。

その他食品

こんにゃく、海苔加工品、パン類、柿の葉寿司等が製造又は販売されています。

榎原ブランド認定とは？

榎原市に関わる優れた商品またはサービスを榎原ブランド「万葉 × 榎原コレクション」として認定し、認定商品等に関する情報発信、販売促進を行う事業です。

榎原ブランド名称

万葉 × 榎原コレクション
かしはら
「万葉」と「榎原」を掛け合わせ、また万葉集の「集」を英語でコレクションとし、榎原市に関わる商品やサービスの集合体としてネーミングされたものです。

榎原ブランド認定マーク

榎原の有名な「榎原神宮」と「大和三山」をモチーフにした認定マークです。



<p>瓜の奈良漬</p>	<p>榎の樹</p>	<p>きなこだんご</p>
<p>大和物産館株式会社 榎原市久米町 577 TEL.0744-28-1600</p>	<p>御菓子処 美松 榎原市八木町 1-8-5 TEL.0744-22-2945</p>	<p>株式会社だんご庄 榎原市東坊城町 860 TEL.0744-27-4340</p>
<p>— 令和元年度認定 —</p>	<p>— 令和元年度認定 —</p>	<p>— 令和元年度認定 —</p>

工業製品・工芸品



会員企業で作られた主な工業製品・工芸品

くすり

幕府の採葉使が大和野菜を採訪したことから、大和地方に薬草栽培が始まり、江戸末期には薬種屋・合薬屋・行商請負が、売薬業として栄えました。明治以降には、置き薬の行商が行われ、大和はくすりの生産地として発展。今なお主要産業として引き継がれています。

衛生帯等

戦後から生産が始まりましたが、合成繊維の発展などで、優れた素材の使用が可能になり、品質も向上。現在は弾性繊維を用いた伸縮性に富んだ製品が主流になっています。

プラスチック製品

県内で昭和初期のボタン製造や文具、洗面器の製造を起源として戦後プラスチック業が盛んになり、現在は市内でもプラスチック製品が加工製造されています。

ニット製品

県内で江戸から明治時代にかけて農家の木綿織りが普及し、明治時代中期からメリヤス業への転換が次第に行われました。現在はニット生地やシャツ・下着類など市内でも製造されています。

その他工業製品・工芸品

農産種子、マスク等衛生対策品、靴下、サポーター、金属エッチングを用いた雑貨、ランドセル等も地場産品として製造・販売されています。

原ブランド認定品

(年度別・商品名五十音順)



飛鳥の蘇

西井牧場

橿原市南浦町 877
TEL.0744-22-5802

— 令和2年度認定 —



酒まんじゅう

和菓子司 鈴音堂

橿原市兵部町 1-5
TEL.0744-22-0429

— 令和2年度認定 —



十返舎こだわり
なすの漬物

十返舎

橿原市今井町 3-6-1
TEL.0744-22-2300

— 令和3年度認定 —

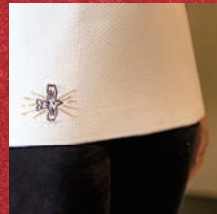


スイーツこんにやく
ずきり風

株式会社香久山美人

橿原市南八木町 3-4-27
TEL.0744-22-2654

— 令和3年度認定 —



ならまきめっちゃうちわ
腹巻き〈金鶏〉

有限会社異繊維工業所

橿原市土橋町 607
TEL.0744-22-5229

— 令和3年度認定 —



はびねす 苺農家の自家製
ジェラートプレミアム
古都華シャーベット

ファーム西川

橿原市観音寺町 265-2
TEL.0744-27-3665

— 令和3年度認定 —

編集後記

橿原商工会議所は、本年創立30周年を迎えました。平成4年4月に設立されて以来、地域総合経済団体として、その使命であります地域経済の発展や社会福祉の増進を目指して様々な活動を展開してまいりました。

このたび、記念事業の一環として「30周年記念誌」を発行する運びとなり、橿原商工会議所の30年の歩みを振り返ることで、改めて先人の努力と功績、多くの皆様の支援により今日があるということに思い至り、感慨もひとしおでございました。

委員一同、できる限り見やすく正確を期するよう努めましたが、至らない点につきましては、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

発行にあたりまして、公務ご多忙の中、ご祝辞を賜りました関係団体長各位、貴重な資料や情報をお寄せいただきました皆様、記念誌作成にかかわったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

創立30周年記念事業運営委員会

運営委員長 佐藤 進

記念誌担当委員(建設業部会) 寄山 雅由

創立30周年記念事業運営委員会 (順不同・敬称略)



委員長
佐藤 進
副会頭



副委員長
下田 吉美
サービス業部会 部会長



副委員長
藤原 雅和
青年部 会長



委員(会場担当)
木原 智司
商業部会 部会長



委員(祝賀会担当)
中西 知
工業部会 部会長



委員(記念誌担当)
寄山 雅由
建設業部会 部会長



委員(記念式典担当)
関 俊昭
観光部会 部会長



委員(記念公演会担当)
辻村 禮子
女性会 会長

橿原商工会議所 創立30周年記念誌

発行： 令和4年9月29日

発行所： 橿原商工会議所

〒634-0063 奈良県橿原市久米町 652-2

TEL 0744-28-4400 FAX 0744-28-4430

編集： 橿原商工会議所 創立30周年記念事業運営委員会

印刷： 株式会社アイプリコム



30周年記念誌
檜原商工会議所